



ふくいきらめきフェスティバル2017

みんなで になおう 地域の未来

平成29年6月11日（日） 福井県生活学習館にて開催



記念講演

困難をチャンスに！未来へつなぐ突破力

～漁師を束ねる女性リーダーの挑戦～

かがやく女性

第43号

題字
福井県知事 西川一誠
発行者
(公財)ふくい女性財団
〒918-8135
福井市下六条町14-1
ユー・アイふくい
(福井県生活学習館 2階)



講師

株式会社GHIBLI 代表取締役

坪内 知佳氏

萩大島との出会い

福井県で生まれ育った私は、大学在学中に縁があり山口県萩市へ移住後、翻訳と経営コンサルタントとして働いていました。現在の仕事に関わるきっかけは萩大島の船員から相談を受けたことでした。船員の相談を受けるうちに、漁獲高が減少していくと萩大島が廃れていくような危機感を感じ、日本の水産を担う集団にしたいとの思いから、半年がかりで事業計画書を書き上げ経営の面から携わるようになりました。萩大島は自然豊かな町で、私の子どもにとっては故郷であり、その環境を守る責任があると実感したことも後押ししました。

次のステップへ

一昨年から去年にかけて復興サポーターとして、福島県いわき市の漁業復興支援に携わりました。震災被害が風化していく中、

当初は地元の漁師からはネガティブな言葉ばかり聞きましたが、萩大島の事例を交えながらアドバイスをしていくとポジティブな言葉が聞かれるようになりました。これからは萩大島の浜といわきの浜が手を取り合い助け合っていきたいと思っています。

現在萩大島船団丸は、全員で知恵を出し合い次のステップに向けて動き出しています。例えば、干物の加工や捕れた魚を使った新商品の開発では、船員ができることを工夫しながら行っています。また漁業ができない時期はスタディツアーを企画するなど、萩大島船団丸には可能性が眠っていると思います。

3歩進んで5歩下がり

8歩進んで経験値を上げる

私たちが手がける鮮魚BOXは、海上にいる船員から届く、捕れた魚の種類やサイズなどの情報をお客様に伝え、お客様のニーズに合わせて船上で活締めした魚を水揚げ後直送する商品です。とてもシンプルな仕事に見えるかもしれませんが、私たちの強みはお客様のニーズを船員達が熟知している、新鮮な魚を提供できることです。

しかし、当初は失敗の連続でした。この時に私は、失敗を経験にしようとして船員に「3歩進んで5歩下がっても後で8歩進んで経験値を積んで勉強していけば良い」と、伝えることにしました。そして船員がお客様の感謝の声を聞いていくうちに意識が変わり、船員自らも付加価値を上げようと努力を始め、事業も軌道に乗りました。

福井のみなさんにひとこと

私の好きな言葉は「自分が自分の責任の

下で自分らしく生きること」とえ明日死んでも後悔のない生き方をしていくことです。落ち込んだ時にこの言葉を思い出し、目標を変えてもらえると嬉しいのです。

私は、日本の海を良くしたい思いから7年前に起業し、目標を2年前で達成しました。今では海外にも私達の魚を出荷しています。自分に何ができるか考え、行動を起こせば意外と簡単に目標が達成できると実感しました。

今、県内の現場に入ると、福井の人は遠慮しながら「福井なんか」と話されますが、福井の魚はおいしいし、街も素晴らしいです。福井の人は福井に住むことの誇りと自信を持ってほしいです。みんなで福井を盛り上げ、福井の良い未来を残してほしいと思います。

企画委員長より

今年も「ふくいきらめきフェスティバル」は盛況のうちに終了することができました。今回は、メイクレッスンやマナー講座・映画・国体花の寄せ植え体験・プラネタリウムなど幅広い世代の方に向けた企画を開催しました。企画委員をはじめ、当日ご尽力いただいた皆様に厚くお礼申し上げます。



ふくいきらめきフェスティバル2017

ワークショップ 若者の息吹をまちづくりに



社中学校、羽水高校、SUN（鯖江の青年グループ）による発表は田中講師の助言で内容が深まりました。まちの魅力やにぎわいづくりに関するテーマのグループ討議では、高校生の活発な発言もありました。

ワークショップ 大学生から質問！仕事のこと結婚のこと



仁愛大学織田ゼミの企画です。10～20代の学生がもつ就職・結婚の意識は意外にも古く、逆に40～60代の参加者からは今までの既成概念にとらわれない発言が多かったことに驚きがありました。

あなたと一緒に働きたくなる！実践マナー講座



女性が自信をもって働くことを目的に、「メイク」、「立ち居振る舞い」、「笑顔の秘訣」を福井県内で活躍する3人の講師がレクチャーしました。

印象アップのメイクレッスン ～50代からのポイントメイク～



和気あいあいの雰囲気の中にも真剣な表情でメイクアップのコツを学びました。初めて使う化粧品にも挑戦し、一段と印象アップした自分に大満足でした。

フォトグラファーによるプロフィール撮影



メイクレッスンでドラマチックに変身した姿やお仕事用のプロフィール写真を洋服やポーズを変えながら、プロの女性カメラマンが撮影しました。

花でおもてなし ～1人1鉢～



講師がお花の思いを元気に熱く語られていました。お花をただ寄せ植えるのではなく、1種類ごとの特徴や育て方も楽しく学習することができました。

簡単！脳トレ体操



はじめに老後の注意点を学び、その後歌いながら手や足を動かす「脳トレ体操」で楽しく運動しました。参加者同士、にぎやかに学習することができました。

手作りプラネタリウムがうみだす星の世界



手作り感あふれる天体ドームに入った参加者は、驚きとともに講師のナレーションで歓声をあげました。上映後は満面の笑顔で、年齢問わず楽しみました。

親子で楽しむあそびうたリトミック



はじめは音楽に合わせて簡単な動作でスタートしました。リズムも動物の動きに例えたりしてわかりやすく、恥ずかしがり屋の子どもさんも笑顔になって楽しみました。



ガールスカウトのみなさん、受付のご協力ありがとうございました！



福井大学グリーンエコー合唱団のみなさんによる新福井県民歌斉唱



おいしいものの販売も盛況でした！

就任あいさつ

このたび、竹内理事長の後を受け理事長の大役を仰せつかりました。微力ではございますが、福井県の女性の活躍を応援するため、誠心誠意努めてまいりますので、ご支援、ご協力をお願いいたします。

私は、福井県漁協女性部連合協議会に所属しており、魚の美味しさと大切さを思う浜の女性達と共に水産物の付加価値向上等に努め、漁村活性化につながる活動を行ってきました。これからふくい女性財団において、加盟団体の皆様と力を合わせて、行政や関係機関の方々のご支援、ご協力をいただきながら、働く女性の活躍を応援する事業や女性団体の活動を支援する事業などの一層の充実に取り組んでまいりたいと考えております。

皆様の一層のご指導を賜りますようよろしくお願いいたします。



理事長 子末とし子

「ワタシらしく、ステップアップの2日間！女性のための再就職支援セミナー」開催済み

平成29年 6月28日・29日

講師 株式会社ドリームワークス 代表取締役社長

社会保険労務士

山内 喜代美 氏
森口 美和子 氏



必要とされ大切にされる人の自分マネジメントの方法や、多様な働き方の中からベストな選択をするために知っておきたい労働保険・社会保険の仕組みを学ぶとともに、2日間同じ行動をすることで、働くための準備を始める機会を得ることができました。

今後の講座開催予定(決定分)

- 10/12(木) 再就職支援セミナー in 坂井市
- 10/26(木) 再就職支援セミナー in 勝山市
- 10/12・13(木・金) キャリア・アカデミー
- 10/28(土) キャリアアップ応援講座(装い)
- 10/29(日) 新米パパママ応援講座 in 若狭町
- 11/23(祝・水) 新米パパママ応援講座 in 福井市
- 12/1(金) キャリアアップ応援講座(コミュニケーション)

平成30年

- 1/20(土) キャリアアップ応援講座(生産性向上)
- 2/21(水) キャリアアップ応援講座(マナー)

*この他にも多数講座をご用意しています

*各講座の詳細はホームページ等でお知らせします

平成29年度 福井県男女共同参画社会づくり 功労者知事表彰



個人

窪田 春美 様 (南越前町)
土成真知子 様 (あわら市)

団体

永平寺男女共同参画ネットワーク

(公財)ふくい女性財団 平成29年度役員紹介

職 名	氏 名	現 職 名
理 事 長	子末とし子	福井県漁協女性部連合協議会長
副理事長	田村 洋子	福井県連合婦人会長
	進藤久美子	(株)ネスティ専務取締役
理 事	◇窪田 裕行	福井県総合政策部ふるさと県民局長
	白崎 和子	福井県生活学習館長
	松田 典子	JA福井県女性組織協議会長
	◇村中 文子	福井県商工会女性部連合会長
	◇三田村壽恵	福井県婦人福祉協議会長
	◇瞿曇 隆子	(一財)福井県母子寡婦福祉連合会長
	◇西 芳子	永平寺男女共同参画ネットワーク会長
	◇芝 美代子	小浜男女共同参画ネットワーク会長
	◇三上健太郎	北陸電力(株)福井支店総務部長
	加藤 晶子	元ふくい女性ネットNEXT
	今富 廣子	元福井県生活学習館長
専務理事	木下治太夫	(公財)ふくい女性財団事務局長
監 事	重久 博子	元(公財)ふくい女性財団副理事長
	川崎 周市	前(一財)福井県労働者信用基金協会専務理事
評 議 員	井川 一男	日華化学(株)人事部長
	石森 利栄	(株)エイチアンドエフ営業部課長
	加藤まどか	(大)福井県立大学 学術教養センター准教授
	小林 順子	小林化工(株)取締役専務執行役員
	北島 三男	(株)福井新聞社特別論説委員
	樋村 禎子	(公社)福井県看護協会会長
	三好 勝	税理士法人三好会計代表社員税理士

◇は新しく就任されたみなさんです

いきいきウーマン

新しい福井のお米
「いちほまれ」の品
種開発チームの一員
として携わった小林
麻子さんと町田芳恵
さんにお話を伺いま
した。



左：小林麻子さん 右：町田芳恵さん

プロジェクト開始当初の気持ち

小林さん 福井はコシヒカリの故郷です
のでそれを超えたい思いで始めまし
た。プロジェクト当初に行った消費者
へのアンケート調査では、甘くてつぶ
感のある（＝もっちり）お米を求めて
いることが分かりました。そこで、そ
れぞれの特徴が強いお米の品種を選ん
で交配した組合せの中から、6年がか
りで20万種から1種まで絞り込みまし
た。当初は目標達成ができるか心配で
したが、農業試験場や農家の方も含め

一丸となって取り組んだおかげで良い
成果が出たと考えています。

品種改良の場面で

女性の視点から取り組んだ点

小林さん 子どもとの会話で、給食で出
てくるコシヒカリは粘りが強く、イク
ヒカリは軟らかすぎると話していたこ
とを思い出し、今回は品種選抜の面で
食感にもこだわりました。

町田さん 仕事だけではなく家庭でも毎
日ご飯を炊くので、ご飯の炊き方を検
討する際にこの経験を活かすことがで
きたと思います。

研究で辛かった点

町田さん お米の品種開発は体力との戦
いです。苗を一本ずつ手植えし、田ん
ぼを歩き回って稲の生育を調査し、刈
取りも手作業で行っています。研究チ
ームに入った当初は体力が余りありま
せんでしたが、今では少しずつ体力が
ついてきた気がします。

いちほまれの品種決定後の研究

小林さん いちほまれのコシヒカリと比
べ、ご飯の見た目がきれいでつぶ感が
あり、さらにやさしい甘さを持つこと
が特徴です。甘さについてはまだまだ
研究途中ですが、美味しいいちほまれ
ができる環境の解明に向けて栽培環境
や方法を変え、農家の皆さんと協力し

ながら引き続き研究しています。

町田さん いちほまれの美味しい食べ方
を追求するため、炊飯の方法も研究し
ています。例えば、家庭用炊飯器の圧
力機能などの機能の異なる炊飯器での
炊き方や、ガス釜や学校給食の炊飯の
炊き方について検討しています。

今後の目標について

小林さん 全国でお米の消費が毎年8万
トンずつ減少しています。少しでも多
くの皆さんにいちほまれを食べていた
だき、全国のトップブランドにしたい
です。

また、いちほまれの品種がゴールで
はなく、まだまだ研究途中です。引き
続き福井の農家が売れるお米を作るお
手伝いができるよう、福井の土地に合
ったお米の研究を行いたいのです。

町田さん お米が炊けると本当に幸せな
気持ちになると思います。また品種改
良を通じて、ご飯が炊けたときのちょ
っとした幸せな気持ちを届けていきた
いです。



いま輝いています

加盟団体紹介

若狭女性ネットワーク

私達、若狭女性ネットワークでは、所
属する女性団体の連携を取りながら情報
交換を行い、研修会等を通じて女性の意
識向上に努めて活動しています。

主な活動内容は町が主催するイベント
への協力です。女性のパワーを発揮して、
人との出会いを楽しんでいます。

また、行政相談員との懇談会では、女
性の目線で町内の安全、環境、子育て等
について、意見要望を提出し、担当部署
より回答を頂いております。特に男女共
同参画社会の推進においては、男性の方
にも積極的に声をかけて盛大に講演会を
開催しています。

現在、少子高齢化の加速、家庭形態の
多様化、地域社会の変化などにより、今
後男女共同参画社会の啓発・推進が非常
に重要になってきています。

若狭女性ネットワークではこれから男
性の団体や個人、また所属されていない
団体にもその重要性を積極的に呼びか
け、活動の輪を広げていきたいです。

